

～Book de Lunch～

学校給食と図書室の本を結びつけ、本に興味を持つと同時に、楽しみながら給食を食べてもらいたい。そんな願いを込めて、栄養教諭の先生と調理員のみなさんが、「Book de Lunch」をつくっていただきました。



『ライオンのおやつ』小川糸・著（ポプラ社）

余命を告げられた海野雫33歳は、残された時間を瀬戸内海にあるレモン島で過ごすことに決めました。穏やかな景色のなか、本当にしたかったことを考える雫。「ライオンの家」と呼ばれるホスピスでは、毎週日曜日、入居者がリクエストできる「おやつの日」がありますが、雫はなかなか選べずにいました。

食べて、生きて、この世から旅立つ。すべての人にいつか訪れる《最期》を温かく描く感動ストーリー。この日の Book de Lunch はアップルパイの登場。

雫とともにライオンの家で過ごす、百ちゃんとその家族がリクエストしたおやつです。



アップルパイは給食センターでの手作り。朝早くから370個を調理員さんが一生懸命作っていただきました。感謝！



3年生教室にて、一ノ宮先生が本の紹介と「食べることは生きること」のお話をしてくれました。

おやつは食に必要ではないかもしれませんが、でもおやつがあることで人生が豊かになります。おやつは心の栄養であり、人生のご褒美であるのかもしれません。

3年生も先生からのメッセージをかみしめていました。

(11月2日)



その他にも・・・

『モモ』エンデ・作（岩波書店）から『金褐色のパン』『チョコレートドリンク』エンデのふるさと、ドイツから『ジャーマンポテト』が（10月28日）

『はらぺこあおむし』エリック・カール作（偕成社）から「カップケーキ」が登場しました。（11月9日）

ごちそうさまでした！